

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会
事前アンケート結果について

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

本校では、学校運営連絡協議会のシステムを発展させていければと考えております。学校保健会の内容も加えてはどうかと考えております。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

学校運営、学校教育に期待する声を広く集められると考えます。児童の健康面への助言を定期的にうかがえるのがメリットと考えます。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

委員の選定によっては、組織が大きくなる可能性があるので学校運営協議会の運営が課題となる。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

I S S 地域対策委員会を運営した経験が無いので明確な意見は出せませんが、I S S 地域対策委員会の皆様から御意見をいただき、統合・一本化については検討していく事になると思います。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

豊島型のコミュニティスクールを考えていくことは意義のあることだと思います。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

豊島区の「強み」は地域の支援力である。このことを踏まえ、現状の学校運営連絡協議会（学運協）の果たしている（果たしてきた）役割について改めて評価を行う必要がある。その上で、今後、「地域とともにある学校」への転換を図るためにコミュニティ・スクール（CS）への移行が必要であるとの論理構築を行うべきであるとする。

注意すべきは、学校の果たすべき役割をあまり多面化、マルチ化してしまうと「学校を核とした地域づくり」が関係者（学校及び地域、行政）にとって過剰な負担となってしまうので、この点を踏まえた制度設計を行う必要がある。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

学校が果たす役割の中心は、あくまで教育活動であり、児童・生徒の学力向上と健全育成が2本柱である。実際の学校経営においては、校風あるいは伝統などに加え地域性を踏まえることで学校としての特色が生まれる。学校が地域において果たしている役割は大きいと考えるが、学校によって差異があるのも事実である。CS像を実現することで、各学校の良さを顕在化させ、課題や問題がある場合は解決への支援の道を開き、豊島区全体として教育の質を良質かつ持続可能とすることが出来ると思う。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

「ゴールの姿」をある程度イメージ化する必要である。
いつまでに、何を、どのように・・・に加え、予算の在り方（使い方）を加えた「モデル校の実践」を形づくることが課題である。
また、本区でこれまで取り組んできた ISS と CS をどう整合させるのか、その考え方についても検討していく必要があり、この点も課題である。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

豊島区の強みとしての地域の力を CS に統合・一本化することへの期待は大きいですが、（働き方改革の主旨も十分に踏まえながら）学校における取組内容について、中長期的な視点での改革・改善が重要である。
過剰な負担を強いたり、プラットフォーム化したりしてしまうと、学校が却って機能不全に陥る危険性があることを踏まえる必要がある。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

豊島区の学運協及び ISS が果たしてきた役割を十分に評価した上で、CS を展開するメリットを積極的に見出し、5年先、10年先を見据えた学校と地域の関係性及び本区の教育のバリューを構築していくことがコミュニティ・スクール制度を導入する意味であると考えます。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

- ・本校（本区）は、「地域学校協働本部（学校支援地域本部）」がないため、その機能を取り込んだ形のCSを目指している。今年度は、「池本学びのサポーター」として、コーディネーターを通して、植物の育成ボランティア、地域探検のサポート等を実施した。今後の学校支援として、学習支援、授業補助、学校行事支援、環境整備、放課後活動支援、土曜授業支援、家庭教育支援、登下校安全確保等、既に実施しているものも含め、学校の要望と地域が進めたいこと、保護者の思いを整理し、学校経営方針に向けて学運協で役割分担を明確にして実現したい。
- ・学運協が学校経営方針を承認し、家庭・地域が目標と情報を共有しながら、行政も一緒に学校の応援団として協働する、そして学校も地域を担う人材を育てるCSにしたい。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

- ・学校経営方針に向けて、学校がやること、子供がやること、保護者がやること、地域がやること、行政がやることを明確にし、学運協から発信することで、特に保護者の意識を高め、協働体制が強固になり、経営方針が実現できると考える。
- ・多様な人との関わりや様々な体験活動等を通して、学校の教育活動が一層充実し、児童の学びを深めることができる。
- ・学運協が、学校経営方針実現のために、学校運営や教職員の任用について必要な意見を教育委員会に具申することで、学校の教育活動を一層充実させることができる。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

- ・現在、学校の教育活動の中で、行政、学校、PTA、地域など、多数の主体（団体）が多様な活動を実施しており、本校が目指す学運協の取組と重なる部分がある。予算の出所も含め、それらの整理が必要である。
- ・地域の代表の方にコーディネーターをお願いしているが、負担がとて大きいと感じる。実際に学校が必要な講師、ボランティアを依頼しても、コーディネーターから地域にアナウンスする手段がなく、今は学校が保護者に手紙を出して募集している。
- ・校内に学運協の部屋が必要である。パソコン・電話等がありコーディネーターが、連絡・調整したり、ボランティアが作業したりする場所が必要。個人情報の管理にもルールが必要。
- ・今後、学運協の議事録作成やCS 便り等を学運協の委員に移行していきたいが、その役目を実際に保護者・地域に依頼できるかが心配である。また、それらの具体的な活動を行う学運協の実働部隊が必要である。既に存在するPTAの役割も重要となる。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

- ・学校としては、今年度も両方の会議を企画・運営しており、できれば一本化したい。しかしISSは、CSの一つの柱として位置付けはできるが、内容が異なるため会議を一つにして減らすことは難しい。学校の働き方改革を進めなければならない中、本校は非常に厳しい状況である。
- ・現在、豊島区の学校は全校がISSではない。今後どうするか方針を知りたい。
- ・ISS地域対策委員会の委員には、謝金がない。会議等を一緒に行う場合、謝金がある方と無い方が同席することになる。（昨年度末、本校で実際にあった。）
- ・ISS地域対策委員会は、ISSを目的に幅広い地域の関係者に参加していただくことができた貴重なメンバーである。この幅広い地域連携を無くすことは難しい。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

- ・豊島区として、今後ISSをどうしていくか、CSに何を求めるか、ぜひ明確にしていただき、学校ができることに全力を尽くしたい。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

学校は基本的には学校内の力で教育は成り立つと考えている。学校は地域に開くとの考えはあるが、「地域とともに」「地域にある」といった考えは、元々なく、あったとしても管理職にある程度である。他府県とちがい、地元意識が個々の教員に少ない。（東京都の独特の意識と思う）

管理職への意識変革は命じることで容易にできるが、教員の意識への浸透には、地域が抱える課題の解決に向けた取り組みを、学校にもその一端を担わせる、または地域の特色の継承を、学校がその一部を担うなどの具体的な指針を盛り込まなくては変えられない。具体的には、豊島区の伝統・文化への取り組みか、地域社会がどこでも抱える防災への取り組みか、地域も巻き込んだモデル事業的な区の施策に取り組むか、を選択して自校のCS化を図るべきと考える。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

<学校> 教育活動の支援（負担軽減・教育活動の増加）
子ども：地域理解 地域愛 地域行事参画意識の向上
地域貢献意識の向上 地域交流の機会の定着・増加
教員： 地域理解 区政理解 社会貢献意識の醸成 子ども理解の深まり
<地域>
学校教育活動の理解 子ども理解 交流の機会の増加 地域行事の活性化

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

安心安全の確保は、学校教育のあらゆる教育活動で、第一で行うこと。ISSの指標は、小学校の安全確保の取り組みには整合性あるが、中学校は、生徒は「大人扱い」であり、地域の安全に若手の第一人者として、担い手として貢献するのもであり、ISSはなじまない。SC（セーフ・コミュニティ）の一つとして、豊島区型のCSを推進すべきである。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

公募による教員は、豊島区のコミュニティスクール校での勤務に当たって、地域貢献に努めることを明確に謳っていくことが必要と思う。

コミュニティスクールを支える地域（学校運営協議会）に、一定の学校教育支援の財政的な付与が必要と思う。（学校に配当されている謝金の一部を回しても、当初から予算化すべきである）

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

子どもの問題は100%大人が作っている。
子どもに足りない力＝そんなことを必要としない生活＝人がそんな生き方をしていない社会。
子どもにこんな力が足りない＝子供がそんな力を発揮する場を得ていない。
目指す子供の姿。＝目指す生活の姿。＝目指す社会のあり方。ある先生の言葉です。
昔から子供は地域の宝であり、先生方は地域で尊敬される存在でありました。それは、入学式、卒業式、運動会などの行事に地域の人達が見学に行き先生方と親しくお話をする機会がありました。
また、地域行事にも先生方が子供たちを激励する姿も見られました。
開かれた学校とは教師自らが、地域と積極的に係り、地域の人と一緒に活動することを厭わなかったからだと思います。
困ったことがあったら、PTA会長や顧問、町会長、同窓会顧問などに率直に相談し一緒に解決していくことが重要と考えます。地域の課題を学校内の問題で片づけないで共有する事がコミュニティスクールの趣旨だと思います。

2.

上記1でお答えいただいた CS 像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

公立学校にしかできない、地域に根差した学校経営が出来ると思います。地域の人材を大いに活用して、それぞれの課題を明確にして、誰がその課題に関わって、どう解決に結びつけるかを決めていく。コミュニティスクールは、生涯教育の場を提供し、学ぶ意志のある人が誰でも参加でき、自らも人に知識や技能を教える場にもなる所である。老若男女がなんの差別を受けることなく、自己実現の場所としてコミュニティスクールを利用してほしい。学校の下請け組織では、未来が無いと思う。

(裏面へ続く)

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

1. メンバーの集め方：地域で中核となる人材に声をかける。(PTA会長、副会長、役員、教務主任、生活指導主任、町会長、青年会代表、育成委員会、民生委員、保護司、消防団、学校開放委員、敬老会、婦人会、等
2. 活動の分配：学校の応援団として、それぞれが何をどれだけやるのか。安全に効率的にどういう順序で進めて行くかを決めていく。
3. 活動するにあたっての予算をどうするか。寄付やクラウドファンディングなどを活用する。
4. 学校は子供たちのためだけにあるのではなく、地域の人達が自分を向上させるために活用できることをアピールしなければならない。
5. そのためにも、大人カリキュラムを作ることが必要だ。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

統一するべきと思います。学校が持つ役割りを学校・地域の安心安全、生涯学習センター、生きがいつくりの場、として地域に愛される施設としてほしいと思います。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

20年前から、開かれた学校づくりと声高に言われておりましたが、今だ学校の殻を破れていません。学校の役割は、人間としての人格形成をするとともに、国家・社会の形成者として必要な基礎を身につけた社会人を育てることにあります。

子どもたちが幸せな人生を歩んで行く上で、今学校で何を学ばなければならないのか。教師、子ども自身、親、地域、政治家、経営者、官僚が現場をよく見て、一緒に未来のために力を合わせて課題に取り組んでいかなければなりません。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名：

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

まだまだ、CSに対する理解がよく出来ていないが、「地域とともにある学校」への転換を図ることの取り組みとあるが、私が今、育成委員の立場として関わっている池袋本町小・池袋中ではかなり満たしていると思っている。ゴミ0デーには、毎年児童全員と育成委員が混じり、区内を隈なく清掃、7月には中学生とPTA・先生・育成委員、総勢150名位で同じく地域清掃、その後総勢300名で学校の会議室をお借りし、委員手作りのカレーを食べながら、生徒とコミュニケーションを図る。中学生との意見交換はここで唯一行っている。神社で行う小学校対抗相撲大会に協賛。8月は小学校の校庭で、地域の消防団の協力指導のもとに防災を兼ねた、どじょうつかみ大会（総勢300名位）、10月は地域の商店街が主催するふれあい祭りに協賛、11月は子ども達とゲームなどを楽しみ委員が芋煮を作り、学校・町会・青年会・育成・地域の方々全員でおにぎりや芋煮を食べながらコミュニケーションを図っています。この行事全てに学校側も入り、地域での出来事など共有していると思っている。ここで大事なことは学校側がどこまで地域に入ってくるかが、重要と思っている。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

育成の関係で33年余学校との関係を共有している自負があるが、ここ近年では校長や教頭との関わりで関係性が大きく変わっていくことがはっきりしている。

私がPTAから関わった頃は、教師も地域にどんどん入ってきたが、ここ10年くらいはほとんど皆無に等しい。子ども達を見ていると、校長や教頭よりもやはり教師の声かけが大事なような気がする。

又特に中学校ですが、部活の先生の役割が非常に重要と思われれます。実際に感じたことで、中学校を選ぶ時、自分がやりたい部活に良い指導者がいれば、そちらを選んでしまう実態があります。

勉強だけでなく野外活動やスポーツ体験など地域で一体となって出来ていければ子ども達は生まれ育った地域が本当の故郷と思うようになり、次代に繋げ、街の発展にもつながるように思う。

(裏面へ続く)

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。
ください。

地域で学校のOBたちがいくら一生懸命色々な団体で活動し、それぞれの立場で(育成・消防団・民生委員・保護司・等々)学校に関わっているが、現役の児童・生徒の関わるPTAが学校との関係を上手く繋がる。そして、地域の団体との関係性を保つことが課題になると思う。
2でも申し上げたが、まずは先生方のと地域の団体との共有が求められると考えます。

4. 学校運営連絡協議会とISS地域対策委員会を、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

私的には、現在3つの会議に出席させていただいているが、一本化することは以前からも思っていたし(人選が殆ど変わっていないので時間がもったいないと)そうしていただいたほうが良い。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

現在、地域に繋がるという風潮がコロナの関係もあってか、進んでいるように思う。
一つ一つの核が幾つもあるより(目的は、もちろん一緒)大きな核の中でまた枝分かれしていくと良いと思います。子ども達は地域で育てるという大前提のもとに各部所でそれぞれ対応し、問題等を共有しながら一つのコミュニティを進められればと思います。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

今まで参加した学校運営連絡協議会は、学校が中心にある組織でした。コミュニティスクールは、学校という教育機関を地域に引っ張り出すことが役割だと考えます。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

最も期待されることは防災だと思います。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

コーディネーターの人材育成

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

開かれた学校教育にするために、学校が地域の活動を通じて必要とするプログラムを考えることが重要かと思う。コーディネーターが地域にどのような人材がいるのか、町会・育成・民生委員児童委員等の団体に声掛けをしながら発掘し、つながる地域を目指すことが大切と考えます。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

1. 地域の方をゲストティーチャーとして迎え入れ、児童・生徒またその保護者と繋がりコミュニケーション豊かな環境を作ること。
2. 人としての大切な養育ができ、また、困った時の相談できる相手としてつながることも出来る。子育ては、地域ぐるみで行う。
3. 部活動の指導員としてメリットがあり、先生方の働き方改革にもなるのではないか。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

コロナ禍の中、実現できる授業の選択になると思います。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

今後は、一本化することで教育委員会も運営しやすくなると思います。コーディネーターを見つけることや、学校と地域の連携を一層高めること、皆さんが話せる場を設けること等、コロナ禍の中大変かも知れませんが、オンラインでの会合が出来る世の中になって参りましたので、上手く活用して意見交換が出来るようにしていかなければならないと思います。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

中学生は、「コトナ」と言われ、子どもでもなければ大人でもない、これから私たちを担う大切な人です。大人と出会う会を重ね沢山の体験をしながら、社会に貢献してもらいたいと思います。中学校で放課後カフェの時間を作り、日頃話せない生徒と話すチャンスを作れましたら良いと考えています。
このようなことが出来るのは、コミュニティ・スクール制度があればこそではないでしょうか。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

・高南小は、運営協議会に関しては、町会長、民生委員、育成委員、スキップ、区民広場の代表者、郵便局長などかなりの人数で運営されています。私は他校の状況をあまりわからなかったのですが、少ないメンバーで協議会を開かれている学校もあるとお聞きしております。私は人数が多いほどそれが正しいとは思いませんが、多ければ様々な意見が出てよいのではないかと考えます。ただ、人選に関してはより具体的に児童にかかわってくれている方を選ぶのがベストではないかと考えます。それを踏まえ、校長先生推薦のメンバーと各学校の運営協議会の委員長推薦のメンバーがバランスよく選ばれるのが良いと思います。また教員の方（学校長及び副校長を除く）も数名参加されるのが望ましいと思います。私は6年生の児童の代表者も参加してもよいのではないかと考えます。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

・運営協議会のあるべく姿は、まずは児童の安全と教育のフォローのために地域、保護者を含め「自分たちができる範囲」でお手伝いをするために何が必要かを議論するのがもっとも大事だと思います。年間行事や児童の様子プリントは事前に配り、当日は各メンバーがテーマごとに議論をし、その場で問題提起をしながら解決方法までみんなでお話し合いをするのがベストではないかと思えます。会議は問題提起まではよく出のですが、解決方法は学校側に丸投げや要望で終わり、そのことについての検証もなされていないのが各校の現状ではないかと思えます。やはり委員長を中心にうまく学校だけでなく、保護者、地域の方も協力する形で解決方法まで提案をし、次回にそれについての取り組みの検証が出来れば、徐々にできる事、できない事が整理され、毎年毎年議論が簡潔になっていくのではないかと考えています。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

・課題となるのはメンバーの人選ではないかと思います。特に地域の方のメンバーをいれる際、この方を入れるとこの方を入れないとよくないなど地域のしがらみが出てくるかと思えます。PTA や学校側のメンバーに関しては、比較的人選は難しくないかと思いますが、地域の方のメンバー選考に関しては非常に難しく、軋轢を生む可能性があると考えます。ただ、町会長だけだと地域の方と一体で何かをするという議論にはなりにくいと思えます。もしかしたら町会ベースではなく、地域の方に協力して頂ける方を募集するなどの新たにメンバーを募るのもよいかとも思います。難しい問題かと思えます。

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

・全く問題ないかと思えます。重複する議題も多く、わかる必要もないかと思えます。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

・なるべく児童目線での議論が行えればと思います。どうしても昔の時代と比べてとの議論になりがちになるかと思えます。時代もいい意味でも悪い意味でも変化をしており、また生活環境や家庭環境も変わってきています。また授業に関しても ICT 環境の導入はどこも最近特に進歩しています。それを年配の方に不愉快にならない方法で伝えた上で、議論をすることが重要ではないかと思えます。この伝えかたが非常に難しく、そこを理解してもらうことがまず最初の難点ではないかと思えます。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

令和2年12月8日

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名：_____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

第一回の時意見させて頂いた様に中学校では地域の方との交流、イベント参加などは現状は中々むずかしいと思います。

各校PTA役員は決して非協力的な訳ではない事はご理解下さい

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

地域との交流を深める事により防犯や地域活性化

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいたCS像を実現するために、課題となることを教えてください。

どの様にしたら生徒、保護者が参加し易くなるか

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

なかなか違いがわからない方（自分もふくめ）も多くいらっしゃいますので一本化した方がわかりやすいと思います

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

学校運営連絡協議会の組織を生かしていく。団体の推薦などで新たな委員を選出する。地域の情報源から人材や地域資源を発掘し協力員を増やしていく。学校と地域との連携を強化し、地域行事への児童の積極的な参加、学校行事への地域住民の参加を働きかけ関係を深めていく。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

児童と地域住民がお互い顔がわる関係が築ける。
地域住民の人材の活用ができる。
地域の特性を生かした教育ができる。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

地域全体にCSを知ってもらうためには時間がかかると思う。
ISS活動も、認知度は低い。
どのように発信していくかが課題だと思う。

4. 学校運営連絡協議会とISS地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

構成員がほぼ同じであるので一本化した方が良いと思う。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会 アンケート

回答者氏名： _____

第1回検討委員会での議論を踏まえ（第1回議事録を添付）、以下のアンケートにご協力ください。アンケートでいただいた意見をまとめて、次回の検討委員会で活用します。

1. コミュニティ・スクール（以下、「CS」）は、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な取組であり、また、「学校を核とした地域づくり」も併せて実現できる取り組みであるとされています。これは今までの地域と学校の関係性を土台にしながら、更なる変化が求められていると考えられます。

これを踏まえて、豊島区のCSをどういう形にしていきたいか、現状と比較した形で、あなたの考えを記載してください。

・今までは、地域、PTAなどが、児童のために、楽しい時間を提供してくれる、どちらかというと、学校は受動的な立場が多かったと思われる。「学校を核とした地域づくり」を観点にすると、これからは学校から発信し、地域の中に関わることで、地域が学校を身近に感じる事が出来るようにしないと行けないと思う。

2. 上記1でお答えいただいたCS像が実現できた場合、期待される効果やメリットを教えてください。

・地域の中に小学生の姿、中学生の姿を見ることで、日常、学童、児童と触れ合う機会がない世代の人とも交流が生まれることは良い。子ども達は地域の方と馴染むことで、将来の故郷を作ることが出来る。子ども達の活動により、地域も活性化が進み、人同士の挨拶・会話を生み、地域に顔見知りが増えるなどメリットは大きい。

（裏面へ続く）

3. 上記1でお答えいただいた CS 像を実現するために、課題となることを教えてください。

- ・学校の活動内容
- ・内容によって活動する児童の人数、関わり方を決める。
- ・地域に貢献するため、戸外活動をするときの安全面
- ・個人情報の問題（地域で児童の名前が触れ合いなどの活動中知られることがあるかもしれないので）

4. 学校運営連絡協議会と ISS 地域対策委員会を、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）に統合・一本化することに関して、ご意見・課題などを教えてください。

- ・一本化に当たり、主旨は違うように思うが、ISSのようにコミュニティスクールの活動も子ども達が委員会活動を通して、行い、且つその活動が、ISSでも認められるなら良いと思う。

5. その他、豊島区でコミュニティ・スクール制度を導入することについて、ご意見があれば教えてください。

- ・学校が地域と触れ合いながら、コミュニティを作っていくことは、良いと思うが学校にとっては、新たな取り組みと時間が掛かり、かなりの負担になると思う。

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。